



Wakayama Livestock Industrial Association 公益社団法人 畜産協会わかやまの概要

(令和8年6月30日現在)

公益社団法人 畜産協会わかやまとは

行政を補完し、畜産振興に資することを目的に昭和 31 年に設立されて以来、和歌山県がおこなう畜産行政と緊密な連携・指導の下に、畜産経営指導や肉用子牛生産者補給金制度等畜産振興事業を実施しています。また、県下の畜産関係団体の中心的役割も果たしています。

近年、BSE や鳥インフルエンザ発生等により消費者の「食の安全・安心」への関心が高まっている中、生産から消費間の情報交換を通じて相互理解を深めるための牛トレーサビリティ法に基づく認定制度等、県民生活に直結した事業にも取り組んでいます。

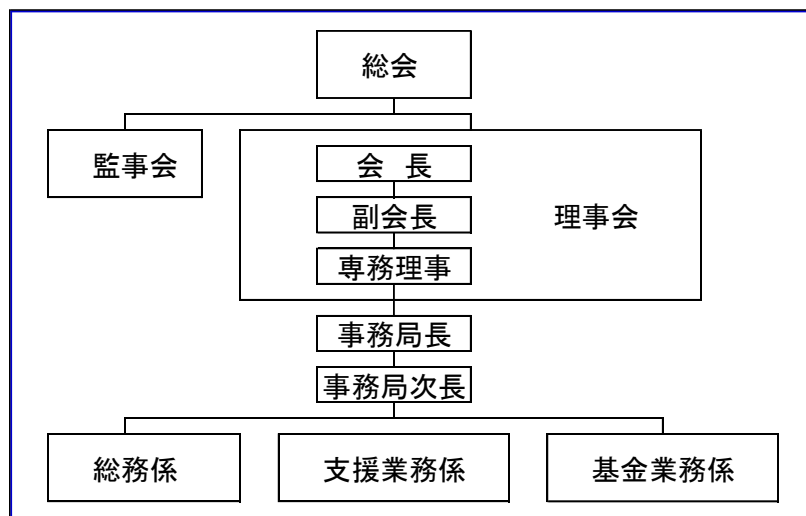
目的

この法人は、良質な畜産物の生産、畜産物の価格の安定及び畜産物の適切な流通並びに畜産農家における畜産経営の安定向上及び家畜の健康保持に貢献し、もって畜産業の振興と国民の食生活の安定・改善に寄与することを目的とする。(定款第3条)

沿革

昭和 30 年の農林省議「畜産の指導体制の強化に関する措置要綱」に基づき、和歌山県の畜産農家指導をおこなう組織として、昭和 31 年 2 月 29 日に(社)和歌山県畜産会が設立され、経営診断指導を中心に様々な支援活動を実施してきました。畜産を取り巻く環境が大きく変化し、畜産農家のニーズが多様化する中、平成 13 年 4 月 1 日には、畜産経営に対する支援指導機能の強化と団体運営の効率化を図るため、平成 2 年 2 月 23 日に設立されて以来、肉用子牛生産者補給金制度業務を主に実施してきた(社)和歌山県肉用子牛価格安定基金協会の業務を継承し、畜産協会わかやまと名称変更しました。公益法人制度改革により公益社団法人畜産協会わかやまとして平成 25 年 4 月 1 日からスタートしました。

組織図



主な業務内容

支援業務係

- 畜産経営・技術の改善指導に関すること
- 畜産指導員の教育・養成に関すること
- 畜産の調査・研究に関すること
- 畜産に関する宣伝及び情報の提供に関すること
- 会員である公益法人及び任意団体の組織、業務及び経営の指導に関すること
- 畜産に関する講習会・共進会等に関すること

基金業務係

- 肉用子牛生産者補給金制度に関すること
- 畜産物の価格の変動による損失の補てんに関すること
- 肉用牛肥育経営安定対策に関すること

総務係

- 法人の運営、人事に関すること
- 経理、庶務に関すること

会員数 正会員44団体(和歌山県、市町村30、その他関係団体13) 賛助会員1団体

役員 計14名(会長1名 副会長1名 専務理事1名 理事8名 監事3名)

職員 計9名(事務局長1名、総括畜産コンサルタント2名、畜産コンサルタント2名、畜産技師1名(内1名出向中)、嘱託職員2名、臨時職員1名)

所在地 〒640-8331 和歌山県和歌山市美園町
五丁目1番地の1 和歌山県JAビル5F

TEL:073-426-8133

FAX:073-435-2118

ホームページ:<http://wakayama.lin.gr.jp>

E-mail:srawp@bh.wakwak.com

アクセス:JR 和歌山駅中央出口 徒歩 2分

